

## 西東京三田会 令和1～2年度第6回 役員会議事録

日時：2021年3月28日（日）10時～12時

会場：ユール田無 A会議室

出席者：樋口〔議長〕、高橋、宝井、佐藤、篠崎、牛島、横田、大内、宮本、渡辺（康隆）、田中、原（洋）

連絡済み欠席者 原（護）、坂口、三輪、小笠原、中村（敬称略、以下文中も）

配布資料：①令和2年度第1回役員会会務・会計報告資料 ②役員改選資料 ③西東京三田会令和3年度総会資料

④西東京三田会ニュースレター No.26 執筆者一覧

回覧資料：①けやき野（西東京稲門会会報）2021・6・6、2021・1・31 ②三田ジャーナル315号、316号

③三鷹三田会会報2020・6・7 ④明大校友会だより2021・1・1 ⑤法政大学校友会多摩北部支部会報15号

⑥法政大学校友会 かわら版東京2020・12・1

### 会長挨拶

コロナの感染者増加で4波が懸念されている中で、世間は動き出している。役員会は久しぶりであるが、経過の総括と今後に向けて情報共有する必要がある。

役員会を招集した理由は以下の2点を論議すること。

- ① 2年間活動は空白だったが、その間ニュースレターを発行した。会費を徴収していないので資金的に逼迫してきた。何らかの形で定期総会をやりたい。
- ② 定期総会では事業報告を2年分一緒に報告し次年度活動計画を共有することと改選期に変則的に改選しなかった役員改選を提案すること。新役員は2年間の任期と考えている。今回は令和元年度第6回の位置づけと考えている。

### 議事

1、前回議事録（令和元年第5回役員会）は既に了解と受け止めている。（高橋）

2、会務・会計報告

高橋幹事長、横田より配布資料①に基づき報告された。

- ・役員会をZoom会議とする要望があるが、通信環境が悪く現状では不可（横田）
- ・サークル活動として竹の子堀（4/25）を会食無し、会費無しで計画している。現在の申し込みは10名。申し込み枠（25名）に余裕があるので増やす働きかけをする。
- ・検討中サークル活動は写真・作品展（11/22～25）で5/6会場抽選回の予定。但し手伝う人が必要。ブルーベリー摘み、歴史散歩の会はコロナの状況で考えていく（宮本、樋口）
- ・小平三田会作品展（4/21～25）は参加経験者にこれから案内する（樋口）
- ・東村山三田会は会食無しで総会を開催することを決定、少人数で開催すること（高橋）
- ・1/8以降の現金・預金の出入りの結果、残高は78,993円となり、ニュースレター発行費用（前回62,250円）1回分しか残っていない（横田）
- ・東村山三田会は会費を銀行引き落としとしている。これを実現する為には手続きの問題がある（高橋）

3、役員選考委員会報告（高橋）

- ・役員改選資料（配布資料②）に基づき説明した。

〈論議内容〉

- ・役員選任委員会で検討し、選任委員総意で新役員体制案を作成。会長以外の役員案は本人の同意を得ている（高橋）
- ・会長案は本人の事前同意がなく、会長継続は不同意で辞退したい。現会長として総会までは責任を持って対応する（樋口）。現役員は留任でなく再任と考えている（樋口）

- ・新任は任期2年、現役員は令和4年に改選期となる（高橋）
- ・選任委員会で本人から会長辞退の趣旨説明をしないで一任した以上、異議は難しいのではないかと  
総意で案を作成した以上、選任委員会の再招集は無理（高橋）
- ・現状の任期はイレギュラーのケースとするかどうか（大内）
- ・前年が例外で令和3年度から元に戻したい。2年任期を守りたい（樋口）
- ・この1年間殆ど活動をしていないし、コロナ禍で活動も停滞しているので今年1年間、会長継続  
でも良いのではないかと（大内）

<結論>

- ・新会長（案）と役員任期について結論が出ていないので次回の役員会で役員改選（案）を再論議する。

### 3, 総会について

<論議>

- ・総会は少ない人数でも何らかの形で実施したい（懇親会は実施しない前提）（樋口）
- ・総会資料は事前に郵送し、参加希望者に出席してもらう方式としたい。総会では前回は会長が  
全て説明したが、今回は役割分担に従って説明してもらい、議長は会長として進行する。
- ・総会は時期的に書面でやると考えていた（渡辺）
- ・会員から委任状を出してもらうなど少人数でやる方法を工夫した方が良い（佐藤）
- ・委任状は会員の意思反映と考え、確認の意味で費用（郵送費）がかかってもやりたい。  
その場合は返信ハガキを同封しないで意見ある人のみ申し出てもらうので良い（樋口）
- ・（東村山三田会の事例を紹介し）委任状は不要で会員に通知し、意見のある人が個別に申し出て  
もらうことで良いのではないかと（高橋）
- ・総会会場はコール田無とし、6月総会実施の前提で4月に予約することにしたい（高橋）
- ・ニュースレターに総会資料を入れるとすると総会はまだ早い方が良いのでは？（佐藤）
- ・ニュースレターと総会は連動させなくても良い（樋口）
- ・総会の目的をはっきりさせる必要がある（宝井）
- ・令和元年度報告と会費の徴収、役員改選の周知が総会開催の目的（樋口）
- ・総会資料は郵送が必要。その際振り込み用紙を同封すれば良い（高橋）
- ・フィードバックを貰う際、建設的な意見を出してもらうように考えたらどうか（宝井）

<結論>

- ・総会は少人数前提で実施する。総会内容を周知する為、総会資料を事前に配布し、会費振り込み  
用紙を同封する。返信用はがきは同封せず、意見、異論がある方は申し出てもらうこととし、  
申し出がない場合は同意とする。総会時期、会場は次回役員会で論議する。

### 4, 令和3年度総会資料の審議

- ・配布資料③の基づき論議した。次回役員会で内容を確認する。その際、総会資料は事前郵送とする為、  
ニュースレター掲載案(配布資料④)は総会時期の関係を考慮し次回役員会で再確認する。

<論議>

- ・役員改選案以外は従来と同じ内容になっている（高橋）
- ・活動計画案はコロナ禍での活動となるので書き方を工夫する必要がある（佐藤）

### 5, 次回役員会について

- ・4月4日（日）午前10時より コール田無 A会議室 書記は篠崎の予定。
- ・主議題は役員改選、総会時期、総会資料の内容検討他

以上 / 記録： 原(洋)